資料２－４

第３回医療・病床部会の概要（堺市二次医療圏）

**１ 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性等について**

〇将来のあるべき姿の到達度を測定する指標として、「将来にむけて回復期への転換が必要な病床」を設定し、今後、地域医療構想の進捗状況をモニタリングしていくことについて、認識の共有を図った。

〇地域包括ケア病棟を病床機能報告において、どのように報告するかは、病院の自主的な判断とするのではなく、地域の中で一定の基準を設けることを検討していくべきではないか。

**２ 病院の将来プラン等※について**

1. **保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院**

　　　特になし

1. **その他、病院のプラン等に対する意見・質問等**

　　　特になし

**※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査**